

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	都市型ホテル（総支配人）	・市内ではアジア競技大会が秋に開催されるため期待できる。また、11月以降の予約の入り方も悪くない。
	○	商店街（職員）	・近隣の商業施設がオープンしたことによる、来街者の増加と、オフィス人口の増加に期待する。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・中東情勢次第である。
	○	スーパー（店員）	・お中元商戦により来客数は現状より増える見込みである。
	○	スーパー（販売担当）	・競合店がなくなる予定だが、自店で客へ迷惑をかけないように安く新鮮、かつ、不良品のない良い商品を提供できるようになれば、景気が良くなる可能性はある。
	○	コンビニ（エリア担当）	・中東の海峡関連の問題が解消して、自動車産業の状況が向上することによって県内の景気が良くなる。
	○	衣料品専門店（店長）	・今年の夏は暑くなる予報が出ているため、景気向上につながる。ただし、気温上昇時期が遅れると購買力は十分に向上しないため、現時点では不安要素もあるが、中東情勢の影響緩和により地域経済が回り始め、潜伏していた買物需要が回復する。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今までは、壊れていないものの使用年数が長いエアコンの買換えが中心だったが、今年も例年以上の猛暑が予想され、エアコンに関する話題がニュースになることが多いため、エアコンの需要は更に増加する。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・前月と比べ新規客が増えている。最近の傾向から、新車から半年落ちくらいの中古車在庫を増やしたため、期待している。
	○	その他専門店〔書籍〕（社員）	・為替も影響するが、秋学期向けの販売量が増加する見込みである。
	○	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。
	○	都市型ホテル（営業担当）	・3か月先にはアジア競技大会が県内で開催されるため、特需を期待したい。
	○	旅行代理店（経営者）	・経済的に中東情勢が一向にはつきりせず、どこかモヤモヤとした状態が続いている。このような状況下で、景気は少し良くなるだろうが、時間が掛かる見込みである。
	○	タクシー（従業員）	・天候の長期予報によると7月以降は気温が高い見込みとなっており、高齢者の通院利用やビジネスマンの移動におけるタクシーの需要が高まる。また、9月中旬からは県内を中心にアジア競技大会が開催されるため、関係者の移動ニーズも見込まれることからタクシー利用も増加する。
	○	パチンコ店（経営者）	・繁忙期を迎えるため期待できる。
	○	美容室（経営者）	・本格的な夏になり、髪を短くしたいという客が多くなるため、忙しくなる。
	○	美顔美容室（経営者）	・8月よりホームケア商品のキャンペーンが始まるため、セットで購入する客が多くいる。
	□	商店街（代表者）	・変化する要因が見当たらない。
	□	商店街（代表者）	・販売単価は上がっているが、販売数そのものが横ばいか多少下がっているため、トータルとしては変わらないとみる。
	□	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・今夏も猛暑が予想され、秋風が吹く時期まではこのまま厳しい状況が続く。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価の上昇がまだ続く見込みであり、景気も現状のままである。	
□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・2～3か月先を考えるとどちらともいえない状況が続くが、消費者が大きく2極化している。株価の上昇による株の利益で、高額な消費が一部で底上げされているが、原材料価格の高騰により生活が厳しい客もたくさんおり、往々にして財布のひもが固まっている。金に余裕がある人は使えるが、節約志向の人もおり、客の割合が半々で、3か月先も景気はどちらともいえない状況が続くとみる。	
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食関係の値上げが毎月発表され、飲食店も仕入れの値上げに伴い、価格を上げるため、客が利用を控えるという悪循環にますます陥っている。飲食店で販売する飲料品関係も当然悪くなっている傾向にある。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・ボーナス月には売上が上がることを期待するが一時的なものであり、今後も節約志向は続くとする。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・クリアランスセールが始まるため、週末にかけて家族連れの来店が期待でき、セールで単価は低いものの、販売量はそれなりに増加する。若い人の来店も増えているが、自店では若い人向けのブランドの在庫を切らしており、購買力のある客が来て在庫がないため、若年層の売上は苦戦する見込みである。単価が低い分、全体的に販売量が増加しても売上はそれほど増加しない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	・中東情勢も一息ついたようにみられるが、ナフサを中心とした材料やインク関連での品不足の影響が出ており、ビニールへの印刷もカラーからモノクロへの変更などが生じている。また、建設材料も滞りの影響が出ており、改装計画が遅れつつある。クリアランスセールが6月下旬からスタートしたが、台風の影響もあり、消費者の動きが芳しくない。セールだからといってすぐに購入するという状況になっておらず、消費者の節約志向がある。また、サッカーワールドカップの影響とみられるが、日本戦の実施日は来客数が大きく落ち込んでいるという状況も見受けられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・景況感が悪化する要因が見当たらないため、当面この景況感が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・中東情勢が不安定なこともあり、7月以降も様々な商品の値上げが続くため、買い控えが続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・梅雨明け時期の気温が前年と違いすぎて、ハンディファンや日傘の売行きが厳しい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・当地で行われる20年に1度の神事にまつわる行事も一旦休憩のタイミングとなるため、現状維持であればよい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・2～3か月先には商品や資材の値上げが控えており、必要な物以外の購入は見送られ、買上点数は伸びないとみる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・2～3か月後には新米が出始めるため古米の価格が下がるとみられるが、石油由来の値上がりで相殺されるとみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・この夏も猛暑予想であるため、その対策商品は動向が期待できるとみる。物価高の影響はいろいろな物に影響を与え、販売価格に転嫁をしなければ回らなくなっている。利益の確保が困難になると懸念され、増収減益の流れは止まらなるとみる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・今月からまたいろいろな物が値上がりすると、ただでさえ平日の来客数が減少しているのに、土日も減るおそれがあり、売上率は余り伸びないとみられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・商品の値上げに消費者が慣れてきた様子である。景況感は横ばいで変わらない。株価は上がっているが、景気が上向いているという実感はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・商品の値上げが依然として続いており、景気が上向いているという話は余り聞こえてこない。値上げが来客数や売上の前年比減少につながっているとみる。消費税減税等といわれているが、その影響はまだ分からないため、景気はこのまま変わらず推移するとみる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・販売数の減少を客単価の上昇で吸収している。ただし、どこかで限界が来る。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・中東情勢が解決するのか、このままの状態が続くのか読めず、判断が難しい。緊張状態が長引くと、今後いろいろな業界への影響が出ざるを得ない。一刻も早く解決することを望む。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・物価高が収まるまで、衣料品を買おうとする消費マインドは冷え込んだ状態が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・個人消費に直結しそうなボーナスの支給額について、前年より増加したなどの報道はあるが、自分の周辺ではそのような声は上がっておらず、景気が上向くような要因は見当たらない。

<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・普通であれば良くない時期になる。これからスーツの販売量はどんどん少なくなっていく、セットアップを上下別々で購入する人が増え、全体的に軽装になる。ワイシャツやパンツのみを希望したり、ノーアイロンや安価な商品を希望したりする客が増えてくるため、景気については何ともいえない。ただし、早めに就職活動をしたという客が来る可能性があるため、2～3か月後は現在よりも忙しくなるとみる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・特に大型の見積りもなければ、景気の良い話も聞かない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・季節商材等が大きく動いた反動で、前年に比べて売上が悪化した。今後は季節商材が売れるにしても、それほど大きく動くことはない見込みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・中東情勢の影響がすぐになくなるとは考えにくく、今後情勢が落ち着いたとしても物価高は続き、景気も現状維持の見込みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・消費者の不安感はなかなか拭えない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・物価高が定着してしまっている雰囲気である。好転する具体的な要素がない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・悪くもなく、良くなる要素もない。今月は非常に景気判断が難しい曖昧な月になったが、同様の状態が続く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・今後金利が少し上昇するが、なかなか物価が落ち着きそうにない。夏のボーナスに期待したいが、なかなか客の財布のひもは固く、自分はこれが必要と強く感じなければ商品購入に至らず保留されてしまう。世間的になかなか車を購買したいと背中を押す雰囲気がみられず、モヤモヤする。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・需要と供給のバランスがここ数年は保てていない。振り当てられた台数を1台1台大切に販売することで、利益確保を心掛けている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・いまだ中東情勢の影響が見通せないため、新車の納期は遅れ気味になっており、整備に必要な部品も手に入りにくくなっている。新型車がこれから発売されるが、納期が今までの倍近く掛かるグレードもあり、客への説明に苦慮している。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・中東情勢の影響で、ナフサ関連の塩化ビニル製品や接着剤等の価格は値上がり傾向である。また、商品が入荷せず遅延しているものもあり、今後数か月の見通しは非常に立てにくい。ただし、リフォーム物件の需要は出ており、一部では上向きの状況が見受けられる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・大きく落ちることはないが、個人、法人ともメリハリのある消費である。物価高から単価を上げることで売上を確保している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・中東情勢による影響を受ける。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・予約が入るスピードが鈍くなっているため、現在の悪い状態が続くとみられる。明確な理由は不明であるが、金利が上がったことや石油の価格が高くなっていること、将来の不安要素が消費に悪い影響を与え、購買活動につながっていないものとみる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・宿泊部門については、国内観光やビジネス及びインバウンド等いずれも予約が堅調である。一方、地元の利用が多い宴会やレストラン利用は今一つといった状況である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・中東情勢の影響により先行きは不確実であるが、大きな変化までは見受けられない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・海外ビーチリゾートから国内ビーチリゾートへシフトする家族も多い。海外旅行の行き先もアジア圏が依然として人気である。海外旅行の航空券価格がかなり高騰しており、米国や欧州といった遠方の新規予約は少し減少気味である。世界情勢が安定し、早く燃油サーチャージが落ち着いてほしい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・購買層の2極化が進んでいる事や人口の減少が徐々に顕在化しており、インバウンドなどで海外からの交流人口が増やせる店と増やせない店で差が生まれ始めている。近隣の一等地の店も閉店しており、行列はできていたが採算には乗らなかった様子である。

□	旅行代理店（経営者）	・景気対策が実を結ぶのはこれからであり、それまでの間は現状のままとみる。
□	旅行代理店（営業担当）	・夏休みやお盆に向けた旅行の申込みはスロースタート状態である。旅行控えというより旅行以外の支出にめどが立ったら旅行に出掛けようという姿勢の方が多いとみる。景気が後退しているとは考えられないが、急激な需要増加は考えにくい。
□	通信会社（企画担当）	・消費者がインフレ状態に慣れるまで、まだ時間が掛かる。
□	通信会社（サービス担当）	・物価高の継続やアナログ回線終了に伴い、固定電話の解約が増加する。
□	テーマパーク職員（総務担当）	・梅雨明けを期待しつつも次は猛暑の到来という、屋外施設にとっては集客面で一層厳しい時期を迎える。様々な納涼企画を実施し集客に努めたいが、例年並みの成果を得られるか不安である。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・円安金利高や物価高などの諸情勢のなか、観光と農業において好影響が期待できない。
□	美容室（経営者）	・明るい話題がなく、先行きが不透明であるため、当分この状態が続く。
□	住宅販売会社（従業員）	・ナフサの不足もあり先行きが見えない。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・見積依頼などの引き合いが少し出ているが、大した量ではない。
▲	商店街（代表者）	・中東情勢の問題が完全に解決し、尾を引かない状況とならない限りは景気の回復は見込めない。今のよう不安定な状況が続く限り、倒産する企業も増えることを危惧する。
▲	スーパー（店長）	・来客数増加が客単価の下落をカバーし切れていない。
▲	スーパー（店長）	・今後も消費者のバーゲンセール品だけを買う動きが見込まれる。
▲	スーパー（店員）	・仕入先から牛肉の卸価格改定通知が届き、7月から3割以上値上がりになり、どう商品をそろえるか、価格をどうするかが大きな悩みの要因となっている。ほかにも多種多様な商品値上げの要請もあり、購買意欲が下がる知らせが今後も続くと思われる。
▲	コンビニ（企画担当）	・来客数の減少傾向は一過性ではなく長期にわたって継続しているため、現時点において改善する要因が見当たらない。
▲	コンビニ（エリア担当）	・まだ物価高は収まらず、おにぎり等の主力商品を中心に値上げが実施される予定であるため、現状よりも購買意欲は更に下がることが懸念される。
▲	コンビニ（店長）	・家計の苦しさは抜本的に改善されず、自衛して乗り切るしかない消費者の状況がある。し好品の購入を我慢して、生活必需品のみの購入に走る流れが顕著になる。
▲	コンビニ（店長）	・1人当たりの買上点数が減少しており、決まった物しか買わない傾向がある。
▲	コンビニ（商品企画担当）	・世界情勢の不透明化による消費の冷え込みが懸念される。
▲	コンビニ（本部管理担当）	・今後の小売業における売上見通しについて、物価高騰に伴う生活防衛意識の高まりや来客数の減少傾向を考慮すると、これまでの客単価上昇に依存した売上維持には限界が見え始めている。また、実質賃金の伸び悩みなどから消費マインドの大幅な改善は見込みにくく、今後の景気が好調に推移することは困難である。
▲	衣料品専門店（販売企画担当）	・生活必需品の需要が動く一方、ファッション品は依然として動きが悪い状況で、なかなか改善する雰囲気や糸口が見当たらない。
▲	乗用車販売店（経営者）	・今後は全ての車両価格が上昇するため、需要が下がる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・テレビ番組、テレビのニュースで様々な商品値上げの話題がたくさん取り上げられており、将来的な値上げを予告されると消費マインドが下がり、景気はどんどん悪くなる。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・元々ローンの金利が高かったが、7月1日から0.5%の金利アップが発表されているため、今後は更にローンの利用率が下がることが懸念される。
▲	一般レストラン（経営者）	・株価や金利が上がっても、一般消費者の生活には何の恩恵もない。逆に苦しいことがどんどん増える。

	▲	その他飲食 [仕出し] (経営者)	・最低でも今年中は、物価の調整で振り回される。
	▲	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	・輸入食材の影響が大きいイタリアンやフレンチなどの飲食店では、円安による仕入価格上昇を販売価格に転嫁しているが、売上が10%程度下がってしまっている。
	▲	旅行代理店 (営業担当)	・団体旅行について、8月～9月上旬はスポーツ団体の遠征や合宿などの送迎がメインで、旅行要素のある行事は動きの少ない時期である。今年も暑さが落ち着く9月下旬以降が旅行シーズンとなる見込みである。
	▲	タクシー運転手	・今の状況からして景気が上昇していくとはみられない。いろいろな物が値上げラッシュで同じ物が何度も値上げされていくが、収入が伴わないため経済が良くなっていくとは到底思えない。どんどん景気は低迷し悪くなっていく。
	▲	テーマパーク (職員)	・中東情勢や物価高が落ち着くまで景気回復は難しい。
	▲	テーマパーク (職員)	・現状の客単価の動きからみて、9月までは猛暑、自然災害の影響によりやや悪くなる見込みである。
	▲	パチンコ店 (従業員)	・近隣に同業他社が開店し、顧客流出が予想される。
	▲	理美容室 (経営者)	・段々と物価が上がり、景気は悪くなるとみる。
	▲	美容室 (経営者)	・物価上昇の影響が大きい。
	▲	その他サービス [介護サービス] (職員)	・来年度の介護保険法が可決された。景気動向でコスト高になっている状況でも、上限価格制でふたをされたままの福祉用具貸与事業は、しばらく辛抱の時期が続くことになる。他業種のように処遇改善もギリギリのところで行っているため、人材採用も本当に難しくなっている。
	▲	設計事務所 (職員)	・円安がますます続いている状況で、景気が良くなる要素は全くない。
	▲	住宅販売会社 (経営者)	・徐々に建設単価の上昇を販売価格に転嫁しつつあり、近々一般消費者の購買限度額にほぼ達するため今後は販売の減速が予想される。
	▲	住宅販売会社 (従業員)	・ナフサ不足からパッケージなどの色が抜けているが、これが元に戻らないと買い控えが更に進むとみられる。
	▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	・物価高が当たり前になり、購入意欲が下がっている。実際に、建材の高騰に加え人件費も上がり、低価格のリフォームでも仕事を取りづらい。まだ厳しい状況が続く。
	▲	その他住宅 [展示場] (従業員)	・住宅建設の資材は更に高騰する見込みである。
	×	商店街 (代表者)	・イランと米国との問題は恐らくこの先も続くと思われる。世界ではとても深刻な原油、ナフサ不足で大きな影響を受けている。物価が上がって、賃金は上がらないため、何ともならない状況である。
	×	百貨店 (経理担当)	・インバウンド消費や株高に伴う富裕層の消費は持続する見込みであるが、金利の上昇や物価高の継続、円安の進行等、消費の減退をもたらすマイナス材料の影響が大きく、結果的に景気は後退していく。
	×	住宅販売会社 (経営者)	・1年間の傾向として、夏場に不動産を検討する人は少ない。近年、7月～9月にかけては異常な暑さになるため、その影響も少なからずある。
	×	住宅販売会社 (従業員)	・リフォーム程度の単発の工事なら、何とか資材も手に入るが、新築住宅になると難しいところが出てきた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	*	*
	○	電気機械器具製造業 (企画担当)	・食品の消費税ゼロが成立すれば、期待値から前倒しで景気浮揚が期待できる。
	○	輸送業 (経営者)	・原油価格に由来する要因では、これ以上の景気悪化はないとみる。
	○	輸送業 (従業員)	・中東情勢の不透明感の解消に向けた動きが見えており、燃料価格が下落傾向にあるため、景気が上向くとみており、取扱物量の増加が見込まれる。
	○	輸送業 (エリア担当)	・元請から、7月以降は単価を5%上げるという話があった。下請に対して値上げをしていないと公正取引委員会から指摘されるため、その対応としての単価改定とのことであるが、いずれにしても単価の上昇は有り難く、今後も毎年単価の上昇を期待する。
	□	化学工業 (営業担当)	・電子材料薬液の需要は引き続き伸びていく見込みである。ただし、香料や色素など夏場までとなるシーズン品の生産については落ち着く見込みである。

<input type="checkbox"/>	化学工業（総務秘書）	・株価もこのまま上がっていくのか不思議なほどであるが、結構な下落を時折起こしながらも上昇基調には変わりなく、このまま継続していくように見える。サッカーワールドカップで日本がよい勝負をしていることは景気に良い影響を与えるため、今後の活躍にも期待したい。
<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（社員）	・年度当初は中東情勢の影響により、受注量の落ち込みを予想していたが、今のところ大きな影響はなく、今後も現状維持が続くとみる。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、全体的に低調になっている。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（営業担当）	・米国では、特にAI関連分野においてスタートアップ企業による設備投資の増加がみられており、当面はこの傾向が続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから判断した。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・いろいろな方面で部品代や材料費が上がっており、かつ、円安が進んでいるため、中国からの仕入材料や部材が値上がりになっている。なかなか値上げして販売することができないため、コストパフォーマンスが悪化していることが大きな問題になっている。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・まだ世界的に不安定な状態が続いており、受注量等は海外の影響を大きく受けるため、不安要素は非常に強いとみられる。為替により、輸出は若干増え、増加傾向にあるとみられるが、国内の景気そのものは特に変動がないとみられる。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・前年度と比べると講習機会や回数が増えているが、これ以上は増えないとみられる。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・景気が良くなっても、猛暑の中で電気代やガス代、ガソリン代まで高騰すると考えると不安でしかない。
<input type="checkbox"/>	建設業（営業担当）	・物価高で受注金額は上がっていき、安全対策の面などの費用も世論的に大きくなっていくため、自治体や相手先の企業、公共団体も発注金額を引き上げざるを得ない状況だろうが、それでも予算はそれぞれ決まっておりにくい。やるべきことや受注金額が増えても、景気が良いといえる状況ではない。
<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	・仕事量について出荷側が調整を掛けているわけでもなさそうで、以前とは様子が変わってきている。中東情勢の影響により、生産や流通が滞っているおそれがある。
<input type="checkbox"/>	輸送業（エリア担当）	・中東などの状況から判断した。
<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・夏休み明けのシーズンは日常生活が節約志向となり、需要の減少が考えられるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	金融業（企画担当）	・取引先の発注金額が、請負業者の状況を考えてくれるようになってきてはいるが、その効果がまだ現れていない。効果が現れだしたら、景気は良くなる方向に向かうとみられる。
<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・今後は前年よりも暑い日が多くなりそうであるが、外出や遠出をする人はやや増加する見込みである。今後の売上は増加し、前年を上回る状況が続く。
<input type="checkbox"/>	不動産業（職員）	・物価高といわれているが、今のところ節約志向により大きく消費行動が変化してきている様子は特にみられない。
<input type="checkbox"/>	広告代理店（制作担当）	・イベント企画や各広告の受注も、様々な値上げによる影響により、余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	新聞販売店〔広告〕（店主）	・物価高や人手不足の状況は変わらず、賃金は伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	会計事務所（職員）	・ちょうど夏休みの時期になるため、一時的に旅行や帰省等で消費が増えるかもしれないが、その後は反動で財布のひもを締めるようになる。
<input type="checkbox"/>	会計事務所（職員）	・中東情勢はまだ落ち着きそうになく、あらゆる物価がこの先も上がっていくとみられる。加えて中国からのレアアースの輸出が滞っているため、工作機械用の刃物の価格も上がっており、大変厳しい状況が続くそうである。
<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・いろいろな物の価格が高くなっており、下がる気配がないため、この先の展開が非常に難しい。原油価格が下がった暁には、その他の物価も下がることを期待する。

	▲	食料品製造業（社員）	・酒造業界は原材料価格の高騰のなか、価格への転嫁に慎重だったが限界にきており、利益確保のため各社は今後の価格見直しが避けられない状況とみられる。それにより販売数量の低下が予測される。
	▲	食料品製造業（経営企画担当）	・中東情勢も解決が見通せず、不安定な状況が当面継続する。
	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・中東情勢の不透明感の長期化やナフサ不足の影響も大きく、さらには原材料仕入価格の改定により、収益面では非常に不安定となっている。
	▲	鉄鋼業（従業員）	・依然として中東情勢の緊迫した状況は変わらず、先行きは極めて不透明である。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・中東情勢を起因とする物件の進捗遅れ、計画縮小などがこの先現実化するとみられ、仮に資材の目詰まりが解消方向に向かっても需要が落ち込むとみられる。
	▲	建設業（役員）	・今後販売する住宅は更に価格が上がっており、困難な状況が見込まれる。
	▲	輸送業（従業員）	・金利上昇で個人消費が低調になり、企業の投資が低下する。
	▲	通信業（法人営業担当）	・当社は自社商品を持たないS I e rであることを強みにしており、システム販売やサービス販売をするに当たって、メーカーやベンダーから見積りを取る。見積り期限がこれまで最低でも3か月あった取引先でも、最近是最長でも1か月になっている。海外メーカーからの仕入れや物価高騰、円安や世界情勢の影響などが、物価に影響していることは明らかで、度々変わる見積りに対して当社のエンドユーザーから不安感をぶつけられることが増えている。見積りを出す方も受け取る方も、エンドユーザーも誰一人気持ち良く仕事ができない状況が続けば、マーケットはこのまま下降していく。
	▲	金融業（従業員）	・特別悪いというわけではないものの、将来を見たときに不安の方が大きいため、景気としては余り良くない方向に動いている。自動車産業等において悪いニュースはないが、自身の回りでも余り良くないという声が多い。
	×	鉄鋼業（経営者）	・良くなる要因がない。
	×	通信業（総務担当）	・景気うんぬんでなく先が見通せない。賃金は毎年目減りしているが、物価は20%から30%上昇している。生きるための生活になっており、これからその状況が続くとみる。
雇用 関連 (東海)	◎	*	*
	○	—	—
	□	人材派遣業（営業担当）	・当面は先行き不透明な状態が続くなか、様子見が続くものとみえるが、大手自動車メーカーの生産台数が減少した影響が今後中小企業に出てくるおそれがある。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・求人数が減少する材料は少ないが、求職者数は減少傾向のため、採用者数はおおむね現状の水準あるいは減少で推移する。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・業務請負先や労働者派遣先の業種においては、原材料やその他周辺材料の入手が困難になり、中東情勢の問題が更に大きくなりつつある。
	□	新聞社 [求人広告]（営業担当）	・中東情勢が不安定なままであり、先が見通せない状況が続いている。
	□	職業安定所（職員）	・中東情勢の影響は、世間でいわれているほど大きくない。
	□	職業安定所（職員）	・ナフサ関連の問題がありつつも、求職者数に余り変動がないことから、今後の景気は余り変わらないと判断する。
	□	職業安定所（職員）	・中東情勢に起因する原材料費高騰を始めとして、従前から続いている燃料費や運送費、人件費等の各経費の高騰により、価格転嫁を進めることが困難な中小企業では、事業活動への大きな負担が長期間継続し、変わらず厳しい状況となっている。また、物価高騰等に伴う消費動向の停滞、世界情勢を踏まえた経済動向への懸念等により、新たな求人提出を控え、引き続き様子見をしている産業も少なくない。求人提出を控えている産業が一部見受けられるものの、現時点で大規模な生産調整や雇用調整等の情報は入っておらず、直近での景気動向の大きな変化は生じないと判断する。
	□	職業安定所（職員）	・求職者数も例年同様、4月以降減少しているが、物価高や中東情勢などの影響による業績悪化を背景に、在職中から転職を検討する相談が増加している。

□	職業安定所（職員）	・求職者数、求人数共に大きくは変わらない。
□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・派遣業界における報道の影響により、自社への直接的な関係性はないものの少し影響は出ている。また、現時点で大きく変化はないが、現段階では派遣への期待感が大きく変化している大手企業もあり、ニーズに応えられる人選若しくは育成が急務である。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・期末決算の開示を受け、今期の事業環境を捉えた際に、中途採用をクローズ若しくは縮小する企業が増えている印象を受ける。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・物価上昇等の影響は懸念されるが、現状で新卒求人について大きな変動はなく、今後2～3か月で状況が大きく変化することはない。
▲	人材派遣会社（社員）	・インバウンドの需要が少なく厳しい状況が続いている。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・半導体関連など一部の業種のみ株価が高騰し、実体経済では恩恵はない。物価高に対しての賃金上昇は日本全体で追い付いておらず、景気回復からは程遠い。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・元々の予算縮小の流れで、10月以降の業務終了者が既に何名か決まっていることに加え、バッテリー式電気自動車開発がストップする影響も出てくる可能性がある。
▲	職業安定所（職員）	・金利が上昇基調であり、借入れの多い企業の倒産等が今後発生すると懸念される。
×	人材派遣会社（社員）	・中東情勢に多少動きが出ているものの、求人の回復までには至っておらず、求職者の動向とあいまって売上の増加が見込めない。